

一般社団法人日本火葬技術管理士会
令和2年度定時総会(書面による)議事要旨

今年度の定時総会は、新型コロナウイルスによる全都道府県をまたぐ移動も全国的に緩和され、人の流れや日常生活も取り戻しつつあるかに思われたものの、再び多くの感染者が発生し続けている事態となっている。

このような状況の下で、定時総会を開催するということに対し、本会として大きな不安を禁じ得ず、今年度の定時総会は書面での開催とし、本議事録を作成した。

- 1 総会の決議のあった日(回答票提出締切り日) 令和2年7月22日(水)
- 2 正会員数 72人(令和2年4月1日現在)
- 3 書面審議 回答票提出者 37人
- 4 書面による審議回答確認者 森山雄嗣監事 決議事項提案者 三木 求会長

【議事要旨】

1 経過

当初、令和2年度の定時総会を5月27日に予定していたが、緊急事態宣言解除後も新型コロナウイルスの猛威が収まらず、各地で感染拡大に歯止めがかからないというのが現状である。

このような状況の下での総会の開催について、本会として非常に危惧するものである。

については、会員へのリスク回避の観点から、令和2年7月7日付「管理士会定時総会の書面での開催について(お願い)」でご案内のとおり書面で総会を開催することとなった。

2 議案の賛否の状況

- (1) 第1号議案 「令和元年度事業報告」について承認された。
- (2) 第2号議案 「令和元年度収支報告」について承認された。
- (3) 第3号議案 「令和2年度事業計画(案)」承認された。
- (4) 第4号議案 「令和2年度収支予算(案)」承認された。

3 ご意見・提案等

回答票を通じて、次のようなご意見等をいただいた。

(1)リーフレット・記章・会旗の製作

リーフレットは必要 記章は自己負担 名刺は有料

(2)理事会の際の火葬場視察について、参加者を募っていただければ参加しやすい。 また、通信教育の面接授業を兼ねると受講しやすくなる。

(3)新型コロナウイルス等のガイドライン作成 迅速に対応し会員が安心・安全に作業できるようまたもっと情報共有できるように願う。

(4)現状では、環境斎苑協会と火葬技術管理士会と何が違うのかわからない。

(5)有資格者の集団として、公的資格、そして総括火葬技術管理士等の発展、会員増強等目指しましょう。

4 議事録署名人

定款により議事録を作成した。

令和2年7月27日

議長 三木 求



議事録署名人 西村 正司



議事録署名人 森山 雄嗣

